

作成日		発行
2016.08.31 No.254		株式会社秋山製作所 企画・デザイン室


 感動 **UX** 満足 

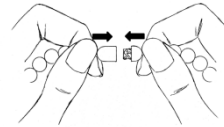
近年、IT関連を中心に、UX（ユーザーエクスペリエンス）「顧客経験価値」が重要視されています。UXとは、ある製品やサービスを利用、または消費した時に得られる体験の総体のことで、個別の機能や使いやすさのみならず、ユーザーが真にやりたいことを、楽しく、心地よく実現できるかどうかを重視した概念です。従来は、製品の評価をする場合、製品の機能の多さ、性能の良さ、信頼性の高さ、価格の安さ等の観点から評価がされてきました。しかし、近年、市場のグローバル化、製品のコモディティ化が進む中、製品の評価の観点が変わってきています。製品にかかわるあらゆる場面を通してお客様を満足させる、感動させる体験・経験を提供するということを重視した評価がされるようになりました。製品を使用する場面では、製品がストレスなく使える、やりたかったことが簡単に実現できるなど、感性的な「感動」、「満足感」を、製品の提供価値として評価をするものです。現在は、IT関連に限らずあらゆる分野で、そのUXの不可欠性が認識されています。当社は、「ユーザーに喜ばれるモノとコトを提案する企画開発メーカーになる」を事業コンセプトとして掲げています。今後も引き続き事業コンセプトを基に、「UX」を取り入れたモノとコトづくりに取り組んでいきたいと思っております。

最後に、事業コンセプトに基づいて開発された、新型留め金具をご紹介します。マグネットで着けやすく、特殊な構造によるロックで自然には外れにくい、引っ張ると容易に外れます。着けやすく外しやすい新金具は、ご年配の方にも簡単に使え、発表間もなく各方面で大反響となっています。是非一度お試しください。

(M. U)

————— クラスプ革命！「MagRevo」マグレボ —————

驚きの簡単装着に、感動と満足！



2016.7.20山梨日日新聞掲載

～〇〇の秋～ 由来

秋は、気候が良く過ごしやすいため、やりたい事がたくさんでき、非常に活動的になる季節です。日本には、「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」などと、「〇〇の秋」と言われていることが色々あります。そのなかで、代表的なものの3つの由来について調べました。

秋は、栗、さつまいも、梨、ぶどうなど、様々な食べ物が実りの時期を迎えます。日本人の主食となるお米も秋に収穫されます。食べ物が豊富にある時期だからこそ食欲が盛んになるということで、「食欲の秋」と言われるようになったそうです。

「スポーツの秋」は、昭和2年9月25日の朝日新聞で「スポーツの秋」という見出しが使われ、その後、東京オリンピックの開催後に定着したと言われております。

「読書の秋」は古代中国の韓愈（かんゆ）という文人が読んだ、「灯火親しむべし」（秋の夜長は明かりをつけての読書に適しているという意味）が、元になったと言われております。

みなさんは今年どんな秋を楽しみますか？ (M. S)

パラリンピック



オリンピックのシンボルマークは、言わずと知れず5色の輪ですがパラリンピックのシンボルは、3色で、人間の最も大切な3つの構成要素「心（スピリット）・肉体（ボディ）・魂（マインド）」を、赤・青・緑で表しています。1988年のソウル大会で、

初めてシンボルがお披露された時には、青・赤・黒・緑・黄色の5色の太極の形のマークでしたが、オリンピック旗と区別するために、1994年のリレハンメル大会から3色のロゴマークに変更されました。そして、2004年のアテネ大会から3代目に変更され、現在に至っています。2008年の北京大会では、シンボルの形・色は現在と同じですが、3色の意味を中国風に、赤を「天」、青を「地」、緑を「人」としていたそうです。

9月7日より2016年リオ大会が開幕します。オリンピックに引き続き、日本選手がたくさんのメダルを獲得できるよう、皆で応援しましょう。(M. S)